



島 あみひ《少女像》1920-30年頃

岸田劉生、
熊谷守一、
東郷青児、
竹久夢二、
小磯良平・・・ほか、
近・現代作家
75名による
女性美の競演



熊谷 守一《愛うつらい》1987年

日本の絵画にあらわれる人体像は明治以降、大きく変わりました。西洋美術と出会い、科学的に対象をとらえる見方と、陰影法など立体感を表す描法を学んだこと、また、理想的身体像であるヌードやその意味を知り、さらには絵画とはなにかという問題について西洋近代的な概念を受容したことなどがその理由にあげられます。

そうした人体像の変化が如実にあらわれたのは女性を描いた絵画でした。西洋近代絵画の風潮を反映して、日本でも明治以降、女性をモチーフとする油彩画が多く描かれました。

この展覧会では、公益財団法人日動美術財団が所蔵する明治から現代までの、女性を描いた絵画作品75点を展示します。あわせて、新居浜市美術館コレクションの中から女性像をモチーフにした作品をコラボレーション出品します。およそ150年にわたる日本人が描く“女性美”の変遷を通じて、それぞれの女性像から浮かび上がってくる表現の多様性を受けとめ、その背景に思いをめぐらせていただければ幸いです。



上段：福井 良之助《日婦人像》1980年
下段：中山 忠彦《婦人像》2006年

関連事業

【オープニング・ギャラリートーク】

日時：4月29日（金・祝）9：30～（約60分）

場所：展示室1・2

講師：長谷川 徳七 氏

（公益財団法人日動美術財団 笠岡日動美術館 館長）

長谷川 智恵子 氏（同美術館 副館長）

定員：50名 ※参加自由（要観覧券）

【講演会】

「日本洋画に描かれた女性像の変遷」

日時：5月29日（日）14：00～（約90分）

場所：あかがねミュージアム地下1階 多目的ホール

講師：山梨 絵美子 氏（千葉市美術館 館長）

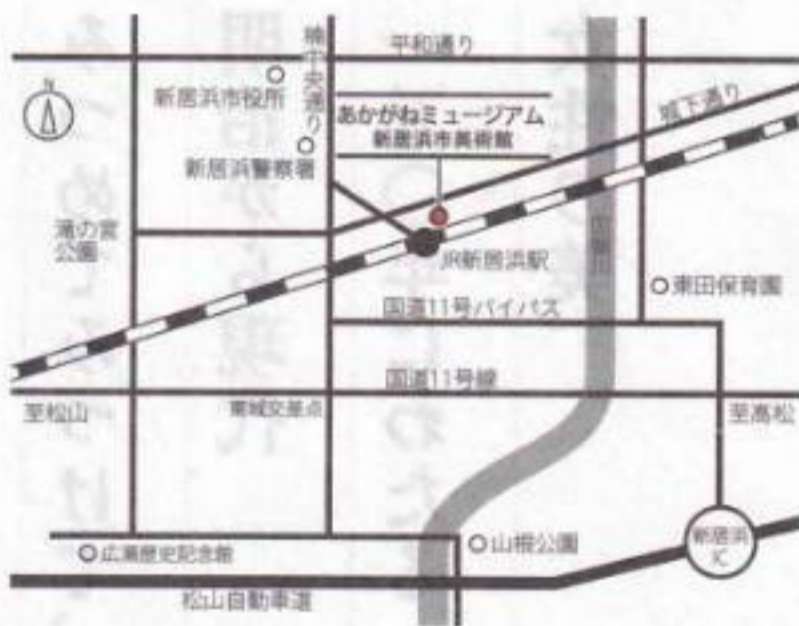
定員：150名 ※参加自由・聴講無料

【学芸員による展示ガイドツアー】

日時：5月14日（土）、6月11日（土）各回 14：00～（約60分）

場所：展示室1・2

定員：20名 ※参加自由（要観覧券）



【交通案内】

JR予讃線「新居浜」駅から徒歩すぐ
せとうちバス「新居浜駅」下車徒歩すぐ
松山自動車道新居浜ICからJR新居浜駅方面へ車で15分
JR新居浜駅を目標にお越しください。
（カーナビへは「新居浜駅」と入力して検索してください。）

【駐車場】

施設併設の有料駐車場がございます。施設をご利用の方は総合案内にて3時間無料サービス券をお配りしています。

新居浜市美術館
Niihama City Museum of Art

〒792-0812 愛媛県新居浜市坂井町2丁目8番1号

Tel. 0897-65-3580

<https://www.city.niihama.lg.jp/soshiki/bijutu/>



五味 清吉《木花之佐久夜畏賣》1926年



櫻井 卓美《いくつかの春》1990年

*表記がないものはすべて公益財団法人 日動美術財団蔵



小磯良平《ブリーンのカーディガンを着た婦人》1955年 本館蔵



中村 穂二《大と女》1995年 本館蔵

《特別展示》
美術館コレクションからも
6作品を
コラボレーション出品